



富士を掘る

足もとに眠る富士市の遺跡



富士市 市民部 文化振興課

目次

「足もとに眠る遺跡」をたどる旅へ。

Ⅰ 富士川・岩松エリア	2
Ⅱ 天間・鷹岡エリア	8
Ⅲ 大淵・伝法エリア	12
Ⅳ 吉原・今泉エリア	16
Ⅴ 吉永・原田エリア	20
Ⅵ 元吉原エリア	25
Ⅶ 須津・船津エリア	28
巻末 MAP	32

「足もとに眠る遺跡」をたどる旅へ。

みなさんは、東名富士川サービエリアや富士マリンプールの地下に、千年以上前の人々が暮らした家の跡（集落）や暮らしの道具が眠っていたことを、ご存知ですか。富士市では、建物や道路の建設、宅地造成等を行う前に、年間四十件以上の遺跡の発掘調査を実施しています。それらの成果は「発掘調査報告書」として毎年刊行され、公立図書館等で公開されているのですが、中には一般の方にはあまり知られていない遺跡も数多くあります。

本書では、市内の主な集落などの遺跡について、西から地区ごとに、学校や公共施設等の身近な場所と紐づけて紹介していきます。さらに、パンフレット『富士の古墳文化』も併せてご紹介いただくと、富士市の埋蔵文化財全般の特徴をご理解いただけると思います。本書が、身近な場所に今も息づく、原始・古代の遺跡の面影おもかげを感じるきっかけとなりましたら幸いです。

遺構 (生活の場)

遺物 (使った道具)

服装 (イメージ)

旧石器時代

礫群 (炉)

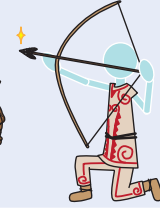
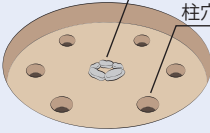


約 1,3000 年前

縄文時代

石囲炉

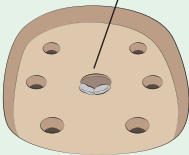
柱穴



約 2,400 年前

弥生時代

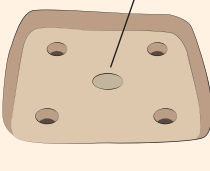
置き石炉



約 1,750 年前

古墳時代

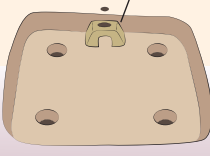
炉



約 1,500 年前

(飛鳥時代)

かまど



約 1,300 年前

奈良・平安時代



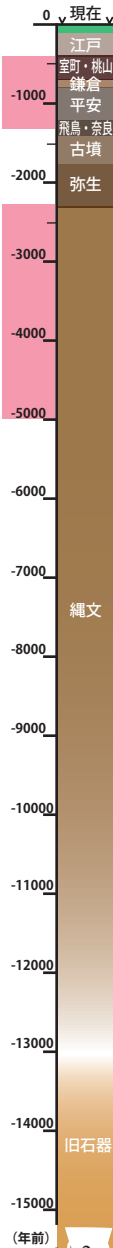
富士市の遺跡から発掘される生活の痕跡とおもな道具 (旧石器～平安時代)

北松野

富士川第二中学校周辺

浅間林遺跡
せんげんばやし

MAP1 [P3]



富士川第二中学校の北側を通る県道10号線沿いは、原始・古代の遺跡の宝庫です。なかでも浅間林遺跡では、縄文時代中期から晩期、さらには平安時代から中世の集落跡が見つかっています。右下掲載の縄文土器は、口径四三・五センチ、高さが五四センチを測り、ほぼ完全な状態で残る縄文土器としては市内でも最大級の優品です。フクロウの目のような文様は、縄文人が崇拜した自然界の精霊を表現したものと考えられています。



古代の交流を示す土器
奈良・平安時代 (8～10世紀)



石棒・石刀・石剣
縄文時代後～晩期 (3,000～4,000年前頃)



縄文土器 (ふかばち 深鉢)
縄文時代中期 (4,500年前頃)

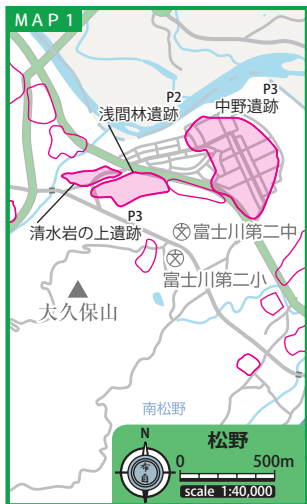
旧石器

富士川第二中学校周辺

中野遺跡・清水岩の上遺跡

MAP1

中野遺跡と清水岩の上遺跡は、県道10号線沿いの中野台団地周辺に広がる集落跡です。中野遺跡では縄文時代後・晩期から中世にいたる集落や墓の跡が見つかっており、浅間林遺跡とともに発展した状況がうかがえます。特に弥生時代後期には方形周溝墓ほうけいしゅうこうぼとよばれる有力者の墓が営まれており、希少なガラス製の装身具そうしんぐが供えられていました。清水岩の上遺跡では、東遠江地域の影響を受けた壺が多数出土し、弥生人の活発な交流を示す資料となっています。



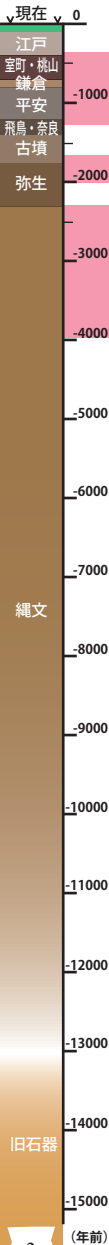
清水岩の上遺跡出土 弥生土器（壺）

弥生時代後期（2～3世紀頃）



中野遺跡出土 ガラス製勾玉・小玉

弥生時代後期（2～3世紀頃）

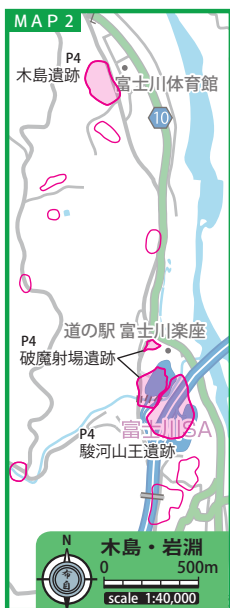
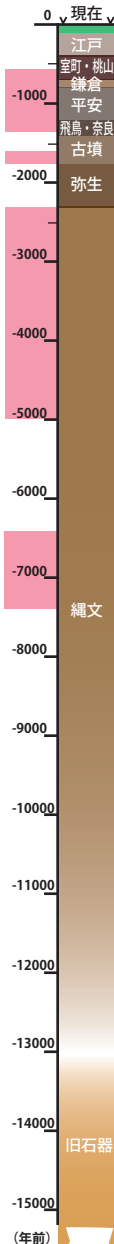


木島・岩淵

富士川体育館・富士川SA周辺
木島遺跡・破魔射場遺跡・駿河山王遺跡

MAP2

富士川体育館西側の高台に広がるのが、市内でも珍しい縄文時代早期から前期の集落跡がある木島遺跡です。ここで初めて見つかった薄手の縄文土器は、木島式土器という名前がつけられ、全国の研究者に知られるようになりました。現在では、同タイプの土器の一部は、愛知県西部から持ち込まれたものと考えられています。一方、富士川楽座(東名高速道路・富士川SA)周辺に広がる破魔射場遺跡・駿河山王遺跡では、縄文時代から平安時代・中世にいたる集落や古墳が多数見つかっています。駿河山王遺跡では、市内では珍しい土偶の頭部が見つかっており、髪を結って顔中に刺青を施した女性の姿が表現されています。富士川河口部の西岸に営まれたこれらの遺跡は、川筋が複数に分かれ、現在よりも広大であった富士川を渡る人々が集まる交通の拠点として発展していたと考えられます。



破魔射場遺跡遠景(西から) 写真提供: 静岡県埋蔵文化財センター

旧石器

(年前)



木島遺跡出土 縄文土器
縄文時代早～前期 (7,000年前頃)



駿河山王遺跡出土 鯨面土偶
縄文時代晩期 (3,000年前頃)



破魔射場遺跡出土 縄文土器
縄文時代中期 (4,500 ~ 5,000年前)



破魔射場遺跡出土 土器類
奈良～平安時代 (8 ~ 11世紀)



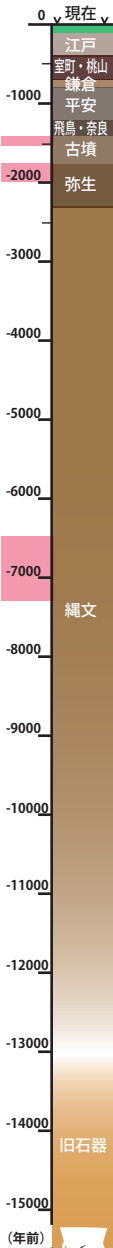
破魔射場遺跡出土 緑釉陶器
平安時代 (11世紀)

岩本

岩本保育園周辺

高徳坊遺跡

MAP3



星山丘陵の南東斜面、岩本保育園の南側一帯に広がるのが、高徳坊遺跡です。これまでの調査で、縄文時代や古墳時代の土器片のほか、弥生時代後期のたてあなじゅうきよあと竪穴住居跡が狭い範囲で八軒も見つかっています。弥生土器には東遠江地域の影響を受けたものがあり、北松野の清水岩の上遺跡とも共通しています。弥生時代後期は

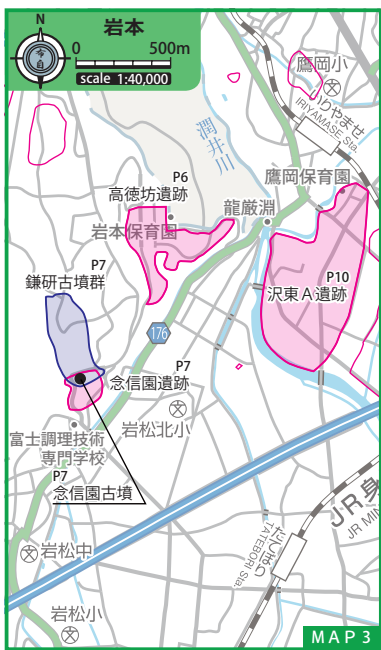
当遺跡のような丘陵上の集落が全国的に増える傾向にあり、その理由として、低地部における度重なる水害や戦乱などの影響が考えられています。



縄文土器・弥生土器・須恵器
 縄文時代早期（7,000年前頃）、弥生時代後期（2～3世紀頃）、古墳時代後期（6世紀）



弥生時代の住居跡
 弥生時代後期（2～3世紀頃）



旧石器

富士調理技術専門学校周辺

鎌研古墳群・念信園遺跡

MAP3 [P6]

富士調理技術専門学校北側、富士川氾濫原を見下ろす高台に約一四〇〇年前に築かれたのが、念信園古墳（鎌研第4号墳）です。横穴式石室の石材は失われていましたが、石室の掘方（基礎部分）と周溝、副葬品の一部が見つかっており、

径八〜九メートル程の円墳であったとみられます。鎌倉時代には有力者の墓地も近くに営まれたようであり、骨壺に使われた瀬戸産の陶器も出土しています。



念信園古墳出土 耳環・須恵器
古墳時代後期（6世紀末頃）



念信園遺跡出土 古瀬戸
左右：四耳壺、中央：（へいし）瓶子（梅瓶） 鎌倉時代（13世紀）



念信園古墳 石室掘方と周溝



念信園古墳遠景（西から）

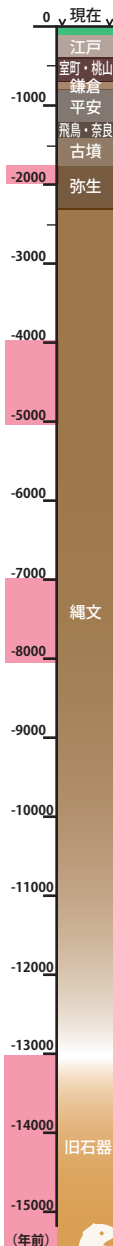


天間

天間幼稚園周辺

天間沢遺跡

MAP4 [P9]



天間地区を南北に流れる天間沢の西側一帯に広がるのが、富士地域を代表する縄文時代の集落として名高い、天間沢遺跡です。天間幼稚園周辺には集落の中心地の一つがあり、人々が集まることのできる広場を囲むようにして建てられた縄文時代中期の^{たてあなじゆうきよあと}竪穴住居跡が十四軒発掘されています。長い縄文時代のなかでも、中期は特に気候が穏やかで人口も増えた時代と考えられており、長野や山梨の縄文人によって育まれた^{はぐく}文化の波を受け、富士山南麓にも多くの集落が生まれました。



顔面把手・土偶 (脚部)

縄文時代中～後期 (3,500 ~ 5,000 年前頃)



縄文人の石器 (打製石斧・磨製石斧・石匙・石錐・石鏃)

縄文時代中～後期 (3,500 ~ 5,000 年前頃)

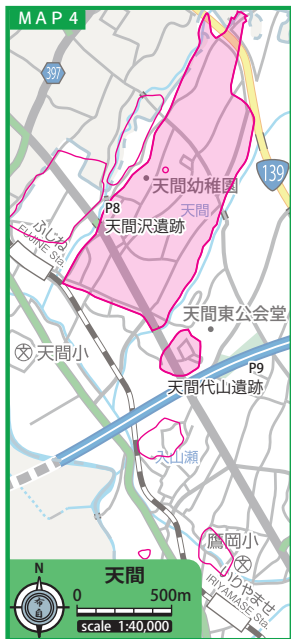


天間沢遺跡の調査風景



縄文土器

縄文時代中期 (4,500 ~ 5,000 年前頃)



おおよそ
大月線（県道414号線）を富士宮方面に向かって進み、新東
名高速道路の高架を抜けて北東側に現れる丘陵上に広がるの
が、天間代山遺跡です。これまでの調査で、奈良時代から平
安時代の^{たてあなじゅうまあと} 竪穴住居跡が九軒見つかっており、墨で文字が書
かれた土器や、^{すずり} 硯に使われた土器などが出土しています。読
み書きがで
きる人物は
当時まだ珍
しく、富士
郡の役人が
住んでいた
可能性があ
ります。



すえき はじき
須恵器・土師器

奈良～平安時代 (8 ~ 9 世紀)

天間

天間東公会堂周辺

天間代山遺跡

MAP4

縄文

旧石器

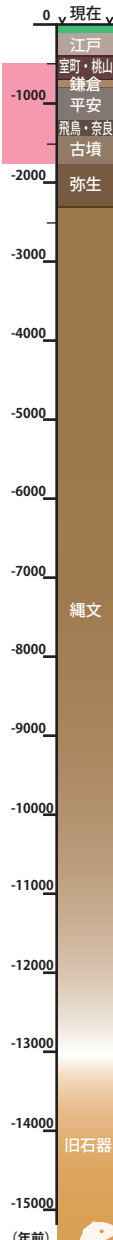
久沢

鷹岡保育園・龍巖淵周辺

沢東A遺跡

MAP3 [P6]

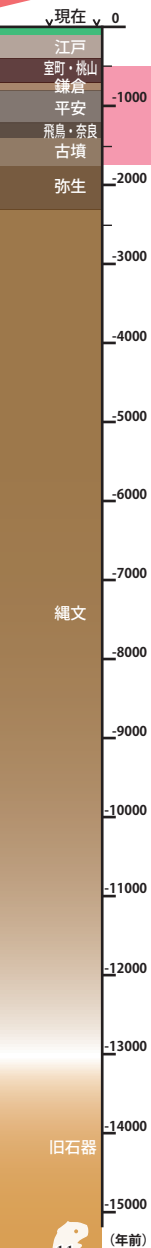
潤井川^{うるいがわ}と凡夫川^{ぼんぶがわ}の合流地点（龍巖淵^{りゅうがんぶち}）から北東の鷹岡保育園^{たかおか}の周辺に広がるのが、沢東A遺跡^{さわひがしえい}です。これまでの調査によって、古墳時代から奈良・平安時代の集落のほか、中世の墓地の存在が確認されています。特に古墳時代中期（五世紀後半）以降の集落は、当時最先端の土器や祭祀^{さいし}、牛の利用などを積極的に採り入れていた様子がわかっており、同時期に本格化する潤井川東岸や富士山麓の土地開発を主導した、渡来人^{とらいじん}を含む先進的な技術者集団の居住域であったと考えられています。伊勢塚古墳^{いせづか}や中原第4号墳^{なかはら}などの富士山南麓を代表する古墳の主たちも、この集落を拠点としていたとみられます。なお、この遺跡では、子持勾玉^{こもちまがたま}や玉類、最新の焼き物である須恵器^{すえき}を組み合わせた水辺の祭祀^{さいし}の痕跡^{こんせき}が見つかっており、潤井川等の治水の成功や水運の安全を願って、古代人によるまつりが執り行われたことが推定されています。



たてあなじゆうきょくぐん
沢東A遺跡の竪穴住居群（南から）

旧石器

10



古墳時代の須恵器と土師器
古墳時代中期（5世紀）



古墳時代の須恵器
古墳時代中～後期（5・6世紀）



飛鳥時代の土器と赤色顔料
飛鳥時代（7世紀）

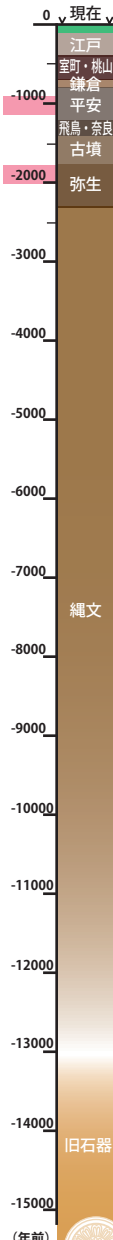


子持勾玉と勾玉形石製品
古墳時代中期（5世紀）



奈良時代の須恵器・土師器
奈良時代（8世紀）

旧石器



大淵

大淵第二小学校周辺

岩倉A遺跡・岩倉B遺跡

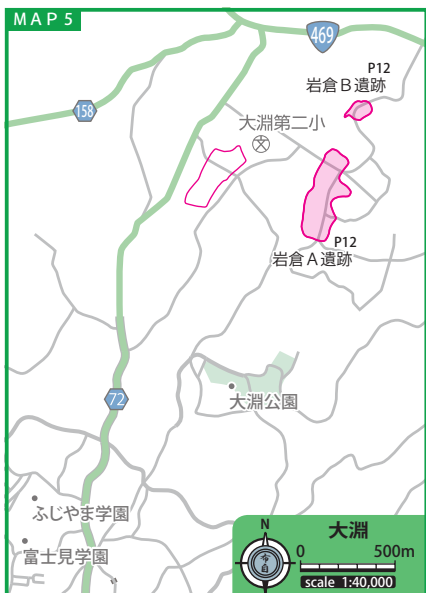
MAP5

大淵第二小学校周辺から国道469号線の南側、標高五百メートル前後の地区は、市内で最も高所の遺跡が集中するエリアです。そのうち、岩倉A遺跡は弥生時代後期の遺跡であり、出土状況は不明ながら、弥生土器の壺が見つかっています。北側の岩倉B遺跡では、平安時代の竪穴住居跡とともに、文字が書かれた土器や甲斐の影響を受けた土器などが見つかっており、古代

の役人や修験者のような知識人たちが、貞観の噴火（八六四（八六六年）の後に富士山に登った際のキャンプ地であった可能性があります。



岩倉A遺跡出土 弥生土器（壺）
弥生時代後期（2～3世紀頃）



岩倉B遺跡出土 古代の土器
平安時代（9～10世紀）

旧石器

中桁町公会堂周辺

なかげた
なかのつぼ
中桁・中ノ坪遺跡

MAP6 [P15]

弥生線沿いの伝法沢川西側から「中桁」交差点の周辺に広がるのが、中桁・中ノ坪遺跡です。これまでに古墳時代中期から奈良・平安時代にかけての集落跡が見つかっています。近年の発掘調査では、皇朝十二銭の「神功開寶」や「富」と墨書きされた土器など、奈良・平安時代にかかわる発見が相次いでおり、西側の沢東A遺跡、東側の東平遺跡とともに、潤井川に、東岸に重要な集落が集中していた様子が明らかにあります。

東岸に重要な集落が集中していた様子が明らかにあります。



皇朝十二銭「神功開寶」
(11 地区) 奈良時代 (8 世紀) ※実寸



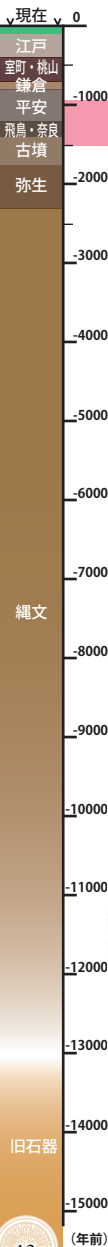
「富」墨書土器 (6 地区)
平安時代 (9 世紀)



古代の祭祀に使われた土器
(7 地区) 奈良時代 (8 世紀)



中桁町公会堂の調査風景 (6 地区、南西から)

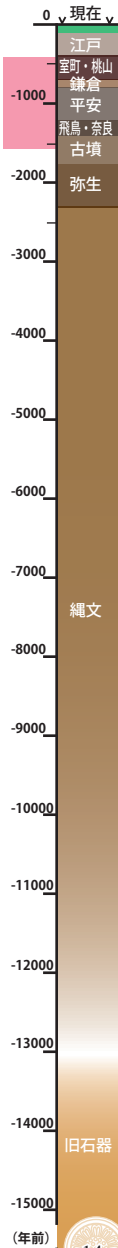


伝法

伝法小学校・富知六所浅間神社周辺

東平遺跡・三日市廃寺跡

MAP6 [P15]



伝法小学校から富知六所（三日市）浅間神社周辺に広がるのが、東平遺跡です。発掘調査では堅穴住居跡が四〇〇軒以上、倉庫跡が九〇棟以上発見されていますが、その大部分は奈良・平安時代のものであり、古代駿河国富士郡の家（郡の役所）がこの地に置かれていたと考えられています。これまでの調査で、郡の重要な倉庫（正倉）や官僚が身につけたベルトの金具、郡名「布自」が墨書された土器、土器を転用した硯、寺院で使われた瓦などが見つかっています。



古代の土器と道具類（2・3地区）
奈良～平安時代（8～9世紀）



伝法小学校建設時に見つかった古代の堅穴住居群と掘立柱建物群（15地区、東から）

旧石器



西富士道路建設時に見つかった倉庫群
(3地区、南から)



三日市廃寺の瓦 奈良時代(8世紀)

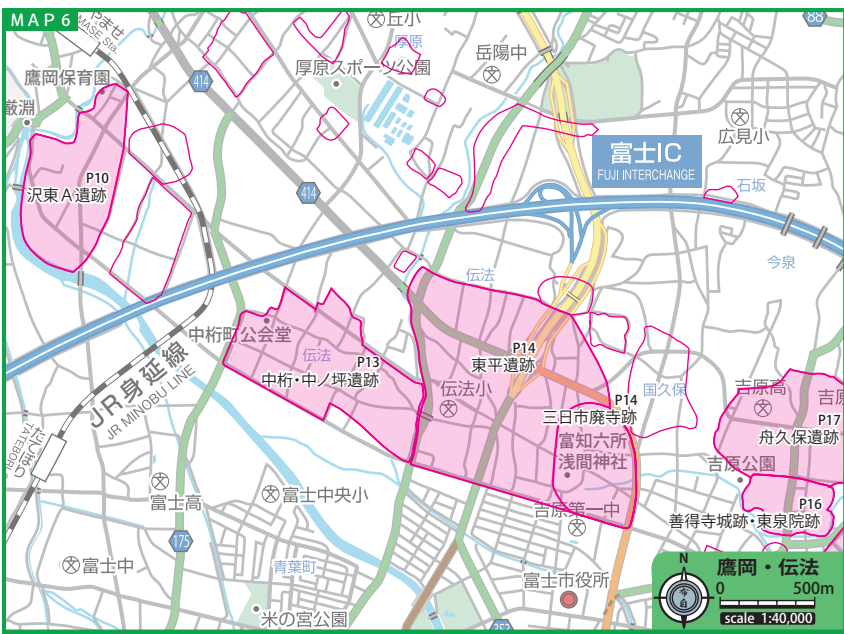
現在 0

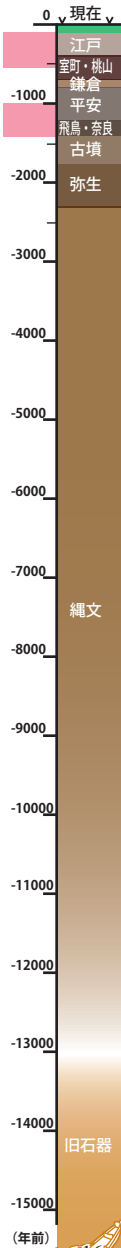
江戸
室町・桃山
鎌倉
平安
飛鳥・奈良
古墳
弥生

縄文

旧石器

(年前)





今泉

吉原公園周辺

善得寺城跡・東泉院跡

MAP9 [P24]

現在の吉原公園から日吉浅間神社境内の一带には、富士山東泉院という寺院がありました。東泉院の歴代住職は、戦国大名や将軍のお墨付きを得ることで、戦国時代から江戸時代までの三〇〇年以上、富士地域の領主としての地位を維持しました。旧境内地の発掘調査では、住職たちの権勢をしのぶ海外産の陶磁器や宝蔵の瓦、明治期に建てられた病院関係の資料などが見つかっています。



東泉院住職が入手した貿易陶磁器 江戸時代 (17～18世紀)



富士病院で使われた医療器具 明治32～44年頃 (1899～1911年)



東泉院時代の井戸からの出土品 江戸時代 (17～18世紀)



吉原公園の調査風景 (西から)

吉原第二中学校周辺

舟久保遺跡

MAP9 [P24]

吉原第二中学校から吉原高校の周辺に広がるのが、舟久保遺跡です。これまでの調査で、縄文時代早期の土器片や古墳時代の横穴式石室墳なども見つっていますが、遺跡の中心は奈良・平安時代の大規模な集落跡です。中学校から約一五〇メートル西側の調査では、東西に整然と並んだ奈良時代の倉庫群とみられる施設が見つかったほか、中学校校庭から「倉」と墨書きされた土器も発掘されていることから、租税として集められた物品を管理する古代の役所関連の倉庫があったと考えられています。



「倉」墨書土器
奈良～平安時代（8～9世紀）



古代の倉庫群（33地区、東から）



中学校西側の調査（57地区、西から）

現在 0

江戸

室町・桃山

鎌倉

平安

飛鳥・奈良

古墳

弥生

-1000

-2000

-3000

-4000

-5000

-6000

-7000

-8000

-9000

-10000

-11000

-12000

-13000

-14000

-15000

縄文

旧石器

(年前)

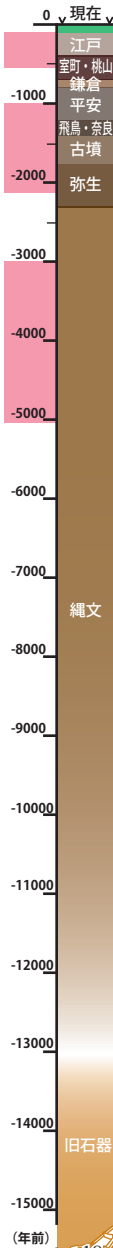


今泉

今泉小学校周辺

沖田遺跡

MAP9 [P24]



今泉小学校プール建設時の調査風景

現在の今泉いまいずみ小学校の周辺、かつて浮島うきしまヶ原と呼ばれた湿地帯の地下三〜四メートルに広がるのが、沖田遺跡です。これまでの調査で、古墳時代前期の船を転用した棺ひつぎや集落跡、古墳時代から奈良・平安時代の水田畦畔すいでんけいはんといった重要な発見が蓄積されています。特に古代の水田は、条里じょうりによって方形に区画された大規模なものであったと考えられています。



今泉小学校プール建設時の出土品
古墳時代前期（4世紀頃）



船に葬られた人物ささに捧げられた銅鏡
古墳時代前期（4世紀頃）



浮島沼で使われた準構造船じゆんこうぞうせん
古墳時代前期（4世紀頃）※推定全長7m以上

青葉台

青葉台小学校周辺

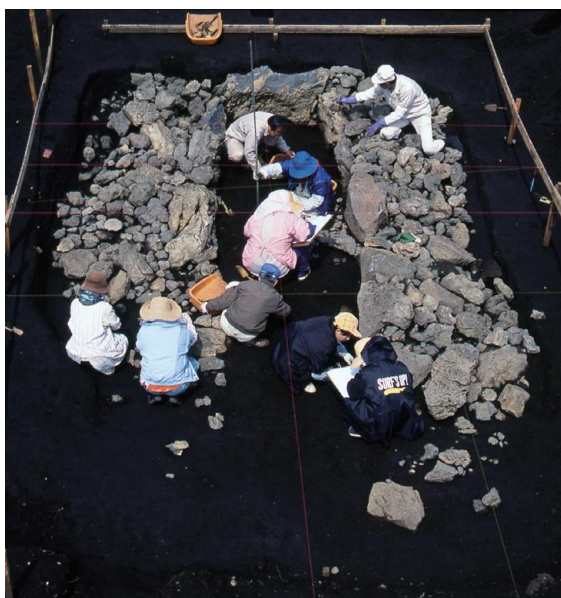
一色D・第35号墳

MAP7

青葉台小学校とまちづくりセンターの建設時に、一色D・第35号墳と呼ばれる古墳が発掘調査されています。その結果、墳丘や周溝は確認できなかったものの、裏込に礫を多用した全長四・八メートル以上の横穴式石室とともに、石棺や副葬品の一部が見つかりました。石室内はすでに盗掘を受けていましたが、役人のベルト金具や銀の飾りがついたナイフ、当時の都があった飛鳥で作られたとみられる方頭大刀の鞘金具といった貴重な品々の断片が残っていました。このことから、古墳の主は飛鳥・奈良時代の富士地域に地盤を置く上級の役人であったことが推定されます。



一色D - 第35号墳の副葬品
飛鳥～奈良時代（7～8世紀）



一色D - 第35号墳の調査風景（南から）



現在 0
江戸 室町・桃山 鎌倉 平安 飛鳥・奈良 古墳 弥生

縄文

旧石器

15000 (年前)

原田

原田公園・原田小学校周辺

宇東川遺跡・中島遺跡・赫夜姫遺跡

MAP9 [P24]

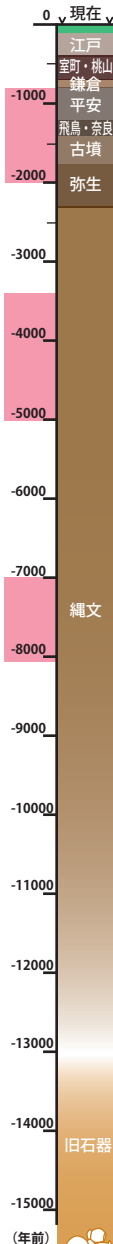
現在の原田公園の周辺の高台に広がるのが、宇東川遺跡です。公園造成等に先立つ発掘調査によって、縄文時代から平安時代にいたる幅広い時期にわたり、集落が営まれていたことがわかってきました。特に縄文集落の広がりには目覚ましく、後期には南の沖田遺跡や松原川北岸の中島遺跡、吉原第三中学校周辺の赫夜姫遺跡までの広範囲に展開したようです。富士山の溶岩流の末端に位置する原田・吉永地区周辺は、湧水池が多いことでも有名であり、縄文人たちが貴重な水源を求めて、一帯に集落を形成したと考えられます。



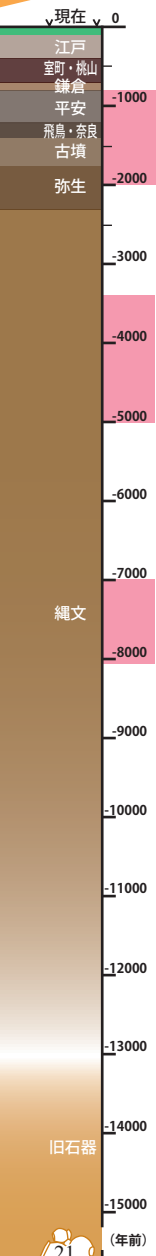
宇東川遺跡出土 土師器・須恵器
奈良～平安時代（8～11世紀頃）



原田公園の調査風景（宇東川遺跡、南から）



旧石器



宇東川遺跡出土 縄文土器・石鏃^{せきぞく}
縄文時代中期 (4,500 ~ 5,000 年前頃)



中島遺跡出土 縄文土器・石棒^{せきぼう}・磨製^{ませい}石斧^{せきふ} 縄文時代後期 (3,500 ~ 4,000 年前頃)



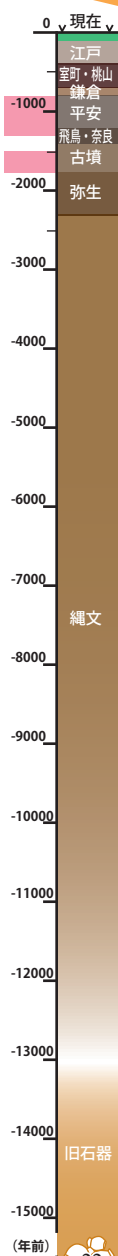
赫夜姫遺跡出土 注口土器^{ちゆうこうどき}
縄文時代後期 (3,500 ~ 4,000 年前頃)



宇東川遺跡の埋葬
縄文時代中期 (4,500 年前頃)



中島遺跡の埋葬と調査風景^{うめがめ}
縄文時代後期 (3,500 ~ 4,000 年前頃)



比奈

富士市立高校周辺

祢宜ノ前遺跡

MAP9 [P24]

富士市立高校の周辺に広がるのが、祢宜ノ前遺跡です。体育館改築の際の発掘調査で、古墳時代前期から平安時代にかけての竪穴住居跡が二九軒見つかっています。この付近には、沼津方面へ抜ける根方街道と、裾野・御殿場方面へつながる十里木道の交差点があったとみられ、この集落も広域的な交流の拠点として発展したと考えられます。



古代の土師器と灰釉陶器
平安時代 (9 ~ 10 世紀頃)



富士市立高校の調査風景 (南西から)



竪穴住居内の貯蔵穴 (床下収納)
古墳時代前期 (3 ~ 4 世紀頃)



古墳時代の土師器
古墳時代前期 (3 ~ 4 世紀頃)

間門

吉永第二小学校周辺

峰山遺跡
みねやま

MAP8

吉永第二小学校の南東、愛鷹山から南西に延びる尾根に沿って広がるのが、峰山遺跡です。正式な発掘調査は行われていませんが、これまでに市内では珍しい旧石器時代の石器のほか、縄文時代早期～中期の土器や石器、弥生時代の石器などが見つかっています。旧石器の材料はすべて黒曜石であり、狩猟や動物の解体時に刃物として使用されました。縄文時代から弥生時代の石器には、漁網ぎよもうに使われた石錘せきすいもあり、当時の人々の生業の実態を知る手掛かりになっています。

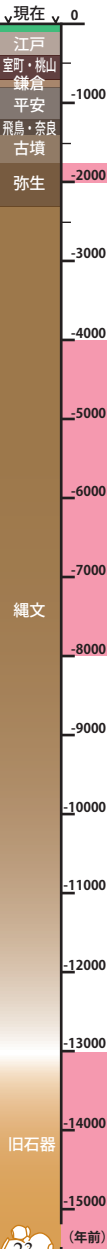
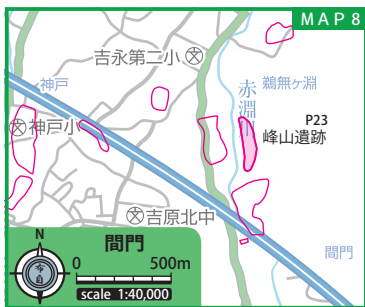


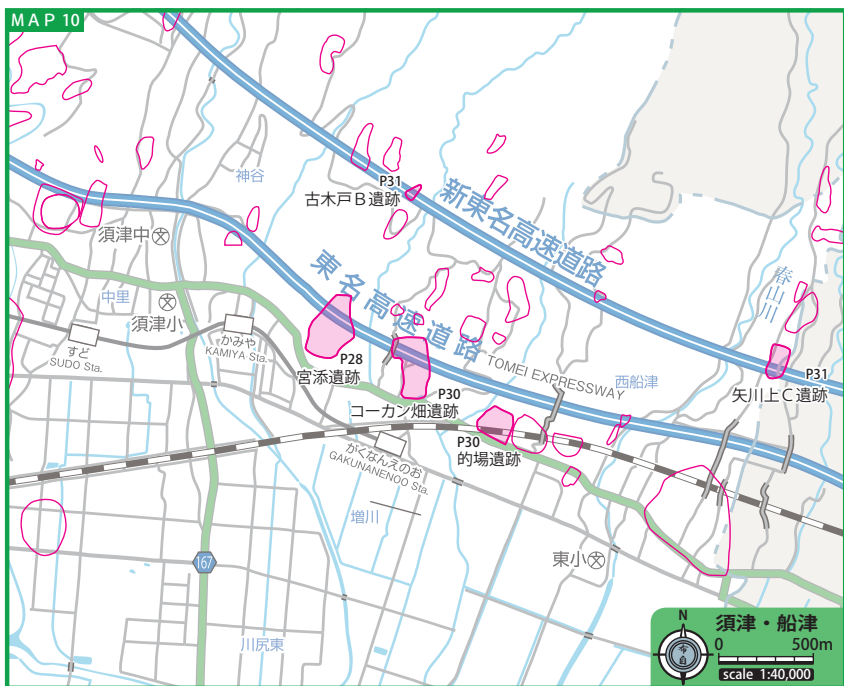
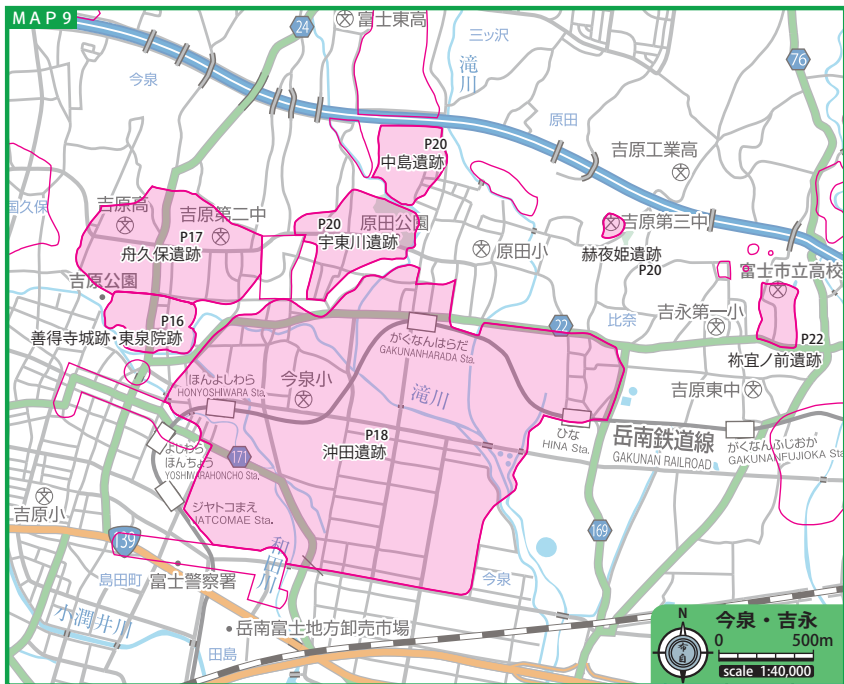
ナイフ形石器とスクレイパー
旧石器時代（13,000～16,000年前頃）



打製石斧・磨製石斧・石錘

縄文～弥生時代





新田
富士マリンプール周辺
三新田遺跡
MAP11 [P27]

富士マリンプールの東側一带に広がる砂丘上の遺跡が、三新田遺跡です。これまでの調査で、古墳時代から奈良・平安時代の堅穴住居跡が八〇軒以上発掘されています。古墳時代前期の集落では、近畿や北陸、伊勢湾沿岸などの地域の影響を受けたものを含む豊富な土器のほか、漁網用の土錐が多数見つかっています。平安時代の集落では、甲斐国山梨郡に本拠をおく三枝氏の名を書いた墨書土器のほか、甲斐の影響を受けた土器も多数みられます。この遺跡は、浮島沼や後の東海道、吉原湊に近接する立地環境から、他地域との玄関口の役割も果たした、富士地域を代表する集落であったと考えられます。

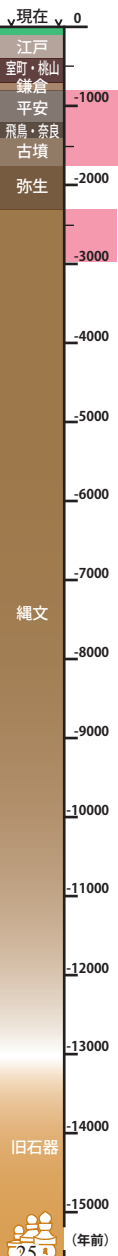


「三枝」墨書土器 平安時代（9世紀）



富士マリンプール建設時に
見つかった堅穴住居跡

古墳時代の土器と漁労具
古墳時代前期（3～4世紀） ※網は復元品

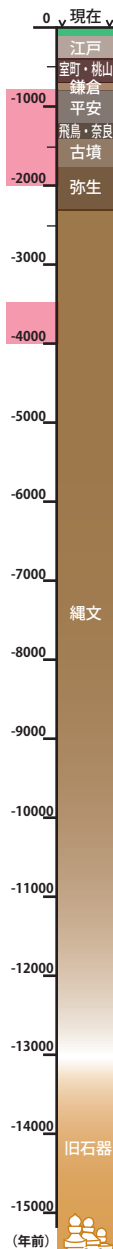


新田原柏中

東田子の浦駅周辺

柏原遺跡
かしわばら

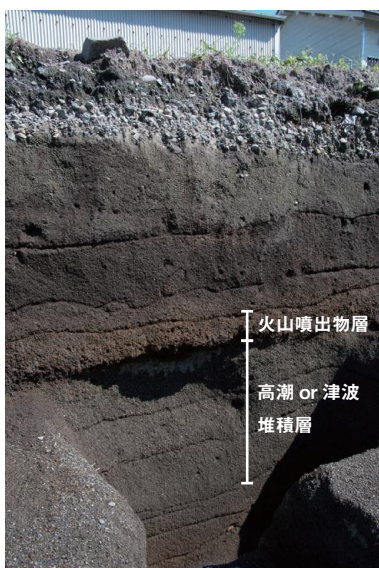
MAP11 [P27]



JR東田子の浦駅周辺に広がる遺跡が、柏原遺跡です。これまでの調査で、縄文時代から平安時代の集落跡が見つかっています。砂丘上に厚く堆積した砂の層の調査では、自然災害にかかわる多くの情報も引き出されており、弥生時代後期から古墳時代前期に大規模な水害（高潮または津波）が頻発したことが、古墳時代中期末（五世紀末頃）に富士山の火山噴出物（大淵スコリア）が降灰したことが明らかになっています。それでもこの地は、住民たちが度重なる災害に屈することなく、浮島沼の水上交通や東海道によって多くの人や物が行き交う要衝として、古代以降も発展していきました。



柏原遺跡の調査風景（南から）



災害の履歴が残された土層



度重なる災害を経験した土器

古墳時代前期～中期（3～5世紀）

元吉原小学校周辺

今井中世五輪塔群

MAP11

現在の今井本町公会堂の南、今井町公園を建設する際に発見されたのが、今井中世五輪塔群です。五輪塔は鎌倉・室町時代のもので、文保二年（一三二八）銘の地輪と形の良い五輪塔一基が市指定文化財になっています。最近の調査で、県東部では極めて珍しい平安時代の常滑産の骨壺もあることがわかりました。この一帯には、吉原湊と関係した有力者の墓地が広がっていたと考えられます。



五輪塔（市指定文化財）
鎌倉～室町時代（14世紀頃）



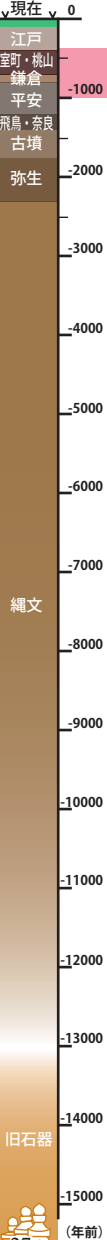
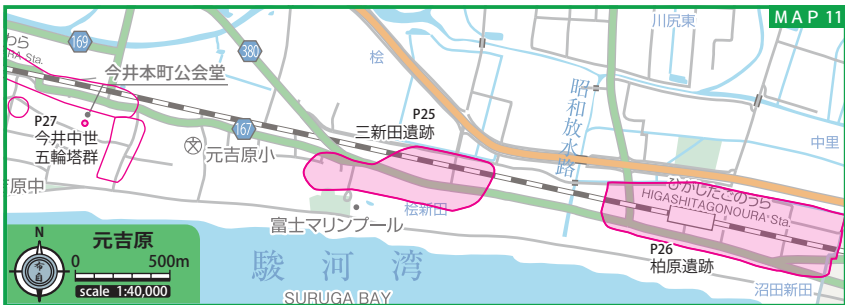
今井中世五輪塔群出土品
平安～室町時代頃（12～14世紀）



五輪塔地輪（「文保二年十二月八」銘）※部分



常滑産三筋壺（骨壺）
平安時代（12世紀）

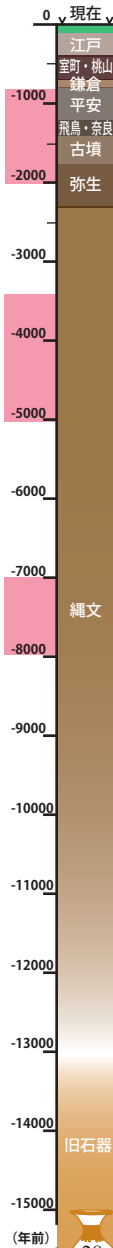


増川

神谷駅周辺

宮添遺跡

MAP10 [P24]



岳南^{がくなん}鉄道神谷駅の東側、増川^{ますがわ}八幡宮の周囲に広がるのが、宮添遺跡です。これまでの調査で、弥生時代から平安時代までの集落や墳墓などが発掘されています。弥生時代後期の集落には、断面がV字形となる環濠^{かんこう}が東西六〇メートル以上にわたって掘られており、その役割は不明瞭ながら、この地の弥生集団の結束を象徴^{しょうちゆう}するものとして評価されます。このほかにも、富士山の火山噴出物（大淵^{おおぶち}スコリア）が降り積もった古墳時代中期の竪穴^{たてあな}住居跡や、奈良・平安時代の皇朝^{こうちゆう}十二^{じゅうに}銭^{せん}などの重要な発見が多く、根方^{ねがた}街道^{かいどう}を代表する集落の一つであったと考えられます。



延喜通寶^{えんぎつうほう}（左）、和同開珎^{わどうかいちん}（右）

奈良～平安時代（8～10世紀頃） ※実寸



宮添遺跡の調査風景（E地区、南東から）

旧石器

現在 0
江戸 室町・桃山 鎌倉 平安 飛鳥・奈良 古墳 弥生



弥生時代の環濠と出土した土器



弥生時代後期 (2～3世紀頃)

-3000
-4000
-5000
-6000
-7000
縄文



火山噴出物層 (白い層)

-8000
-9000
-10000
-11000
-12000
-13000
-14000
旧石器



大量の土器が見つかった竪穴住居跡
古墳時代後期 (6世紀)



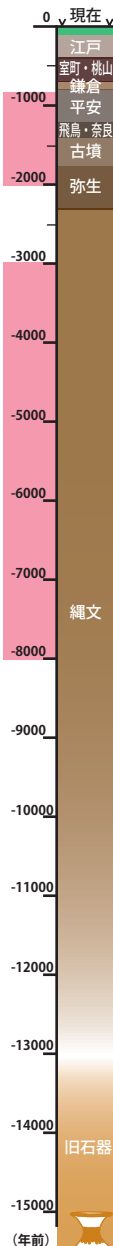
富士山のスコリアが積もった竪穴住居跡
古墳時代中期 (5世紀)

江尾・境

岳南江尾駅周辺

コーカン畑遺跡・的場遺跡

MAP10 [P24]



岳南江尾駅の北側から、東の根方街道沿いの新幹線高架周
 辺までのエリアには、弥生時代から古墳時代の集落遺跡が集
 中しています。飯綱神社周辺のコーカン畑遺跡では、縄文土
 器片のほか、弥生時代後期から平安時代の集落跡が見つかり
 ました。また、東海道新幹線建設時に発掘された境の的場遺
 跡では、弥生時代から古墳時代
 の竪穴住居跡が見つかっていま
 す。このほかにも、かつて江尾
 で出土したという弥生土器も伝
 わっており、浮島沼北岸の根方
 街道沿いの集落が二〜三世紀以
 降に大きく発展していった様子
 がうかがえます。



江尾出土 弥生土器 (壺)

弥生時代後期 (2～3世紀頃)



的場遺跡出土 弥生土器 (台付甕・壺)

弥生時代後期 (2～3世紀頃)

新東名高速道路周辺

ふるまどびー
古木戸B遺跡・矢川上C遺跡

MAP10 [P24]

新東名高速道路の建設に先立ち、富士市内では愛鷹山麓を中心にも多くの遺跡が発掘されました。なかでも旧石器時代の遺跡が市内で初めて大規模に調査されたことは、富士地域で歴史を紡いだ最初の人々の生活を明らかにする上で、大きな成果となっています。増川の古木戸B遺跡や船津の矢川上C遺跡では、約二万七千年前から一万三千年前の石器製作の作業のほか、調理場（れき 礫のま）とみられる火を受けた礫のまともりも見つかりました。

石器の素材となった黒曜石には、信州産や伊豆神津島産といった遠隔地のものもあり、旧石器人たちの広域的な交流の実態をうかがい知ることができます。



古木戸B遺跡出土 旧石器
旧石器時代（13,000～16,000年前頃）



矢川上C遺跡出土 旧石器
旧石器時代（13,000～16,000年前頃）



矢川上C遺跡の調査風景
静岡県埋蔵文化財センター提供

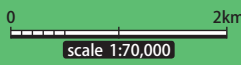
現在 0
江戸 100
室町・桃山 200
鎌倉 300
平安 400
飛鳥・奈良 500
古墳 600
弥生 700

縄文

旧石器

富士市の遺跡分布地図

遺跡は、意外と身近にある文化財です。
あなたのお家の近くにもありますか？



※ 富士市内の主な遺跡の分布を示すもので、一部の遺跡・古墳群については掲載していません。



● ふじさんかくやひめみゆーじあむ

富士山かくや姫ミュージアム

TEL (0545)21-3380

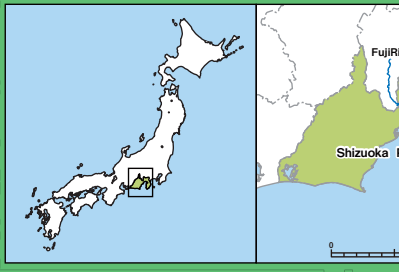
富士市の歴史について知りたいときは…

「富士に生きる」をテーマに、旧石器時代から近代まで、富士の地に暮らした人々の歴史や文化について知ることができる市立博物館です。「富士山のかぐや姫物語」についても紹介しています。
 ③ 富士市伝法66番地の2 ④ バス停「広見団地入口」から徒歩3分 ⑤ 無料 ⑥ 月曜日（祝日を除く）・祝日の翌日・年末年始 ⑦ あり



ミュージアム
資料調査室
ゾーン

静岡県富士市の位置



●ひろみこうえんふるさとむられきしぞーん
広見公園ふるさと村歴史ゾーン

屋外展示

ひろみこうえんふるさとむられきしぞーん
 ひがしだらいせき ほくつ たてあなじゅうきよあと ほつたてぼしらたてもとのあと
 東平遺跡で発掘された竪穴住居跡や掘立柱建物跡
 を復元して展示しています。伝法に存在した横沢古墳や
 江戸時代・明治時代の建物なども移築復元しています。

- ③バス停「広見団地入口」から徒歩3分（富士山かくや姫ミュージアムの西、広見公園内）
- ④無料
- ⑤なし（雨天時および富士山かくや姫ミュージアム休館日は建物内の見学はできません）
- ⑥あり

昔の建物を
 見たいときは：



MAP 1



MAP 3



MAP 4



●ふじしまいぞうぶんかざいちょうさじつ
富士市埋蔵文化財調査室

TEL (0545) 22-2095

富士市内の遺跡 発掘調査をおこない、その
 成果を整理・検討して調査報告書を作成して
 います。最新の調査成果はここにあります。

- ③ 富士市伝法79番地の2
- ④ バス停「広見団地入口」から徒歩5分
- ⑤ 無料
- ⑥ 土曜日・日曜日・祝日・年末年始
- ⑦ 公園駐車場



発掘調査について知りたいときは：

富士を掘る — 足もとに眠る富士市の遺跡 —

令和元年（2019） 9月30日発行

〔編集・発行〕 富士市市民部 文化振興課

☎ 417-8601

静岡県富士市永田町1丁目100番地

Tel.0545-55-2875 Fax.0545-53-0789

E-mail. si-bunka@div.city.fuji.shizuoka.jp

〔印刷〕 文光堂印刷株式会社

ふじ ぼくしよ
「布自」墨書土器

ひらふち
東平遺跡／奈良時代（8世紀）

